都城市山之口地区地域福祉計画

山之口あじさいプラン

☆ 誰もが安心して暮らせるまち　山之口をめざして ☆

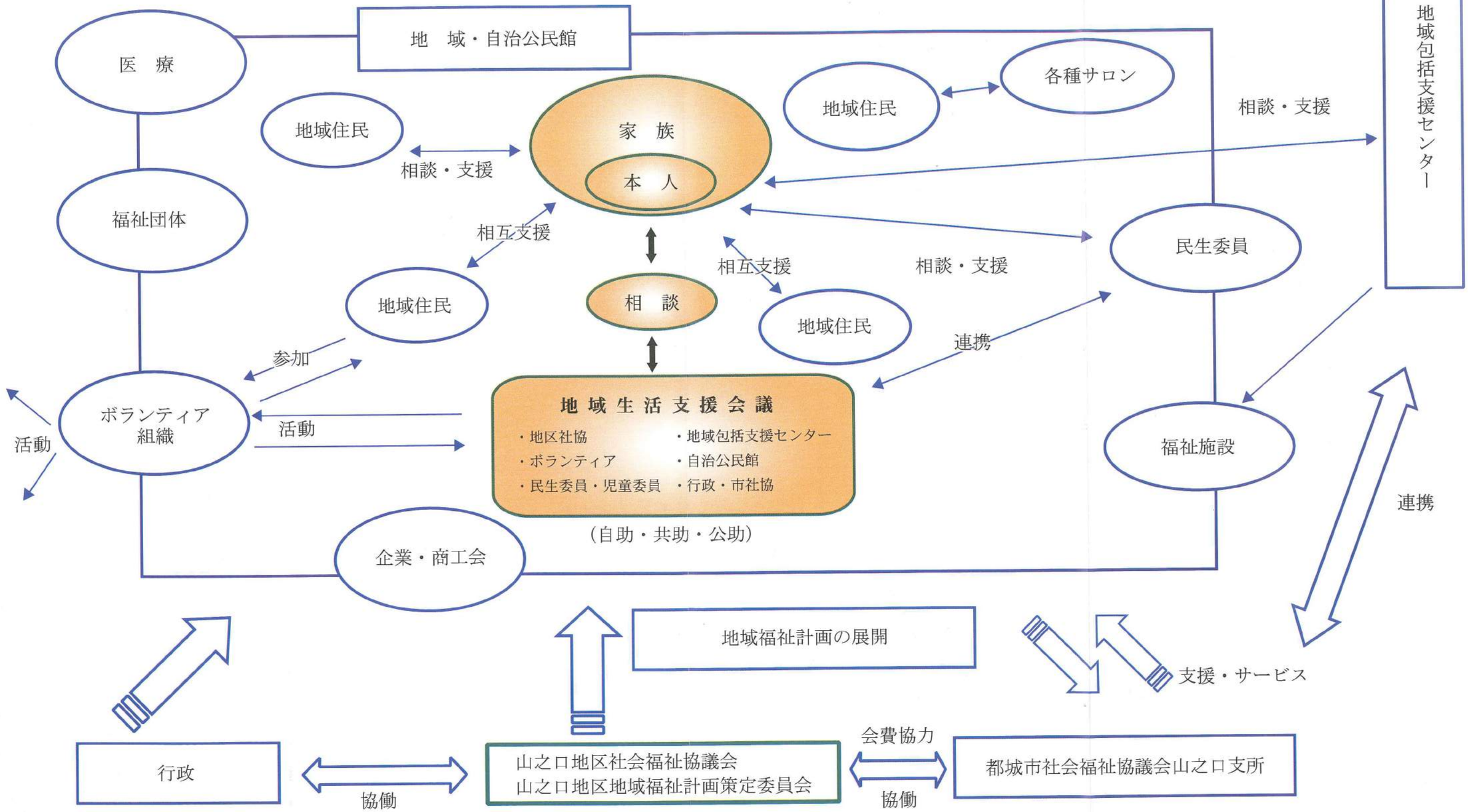
大阪教育大学
新崎先生の福祉教育授業
山之口小学校　３年生

平成27年3月

山之口地区社会福祉協議会

山之口地区の地域福祉のイメージ

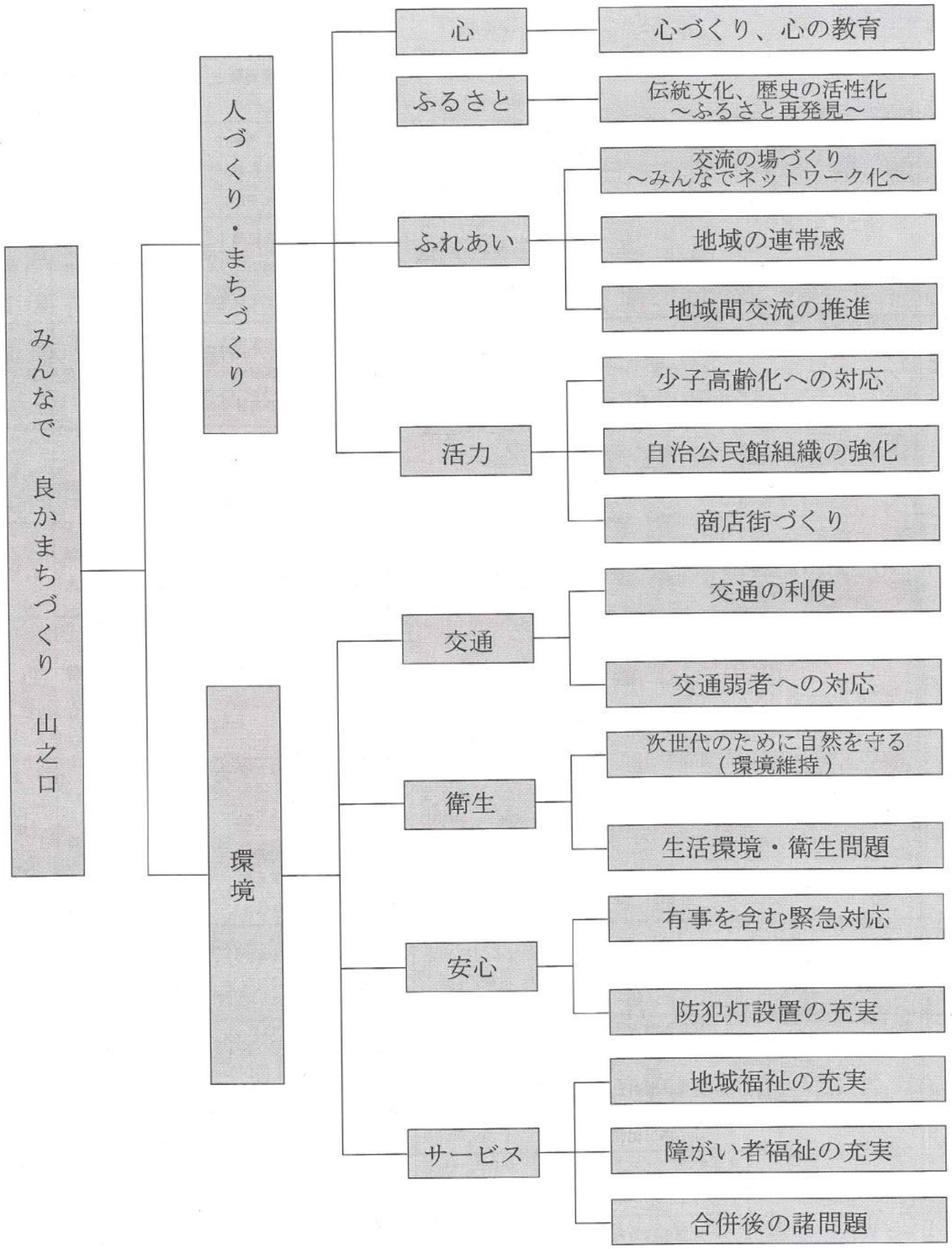
いつまでも、住み慣れた山之口で“心豊か”に“生きがいを持って”暮らすために！



山之口地区はさまざまな地域活動に取り組んでいます

	青井岳地域	永野地域	麓地域	花木地域	上富吉地域	下富吉地域	青少年育成協議会	こども会育成連絡協議会	芸術文化協会	体育協会	婦人連絡協議会
4月	公民館総会 環境美化活動	環境美化活動 春祈念	公民館総代会 各部会合同会議		富吉小ＰＴＡ、地域総会	運営審議会 熊野神社環境整備		事務担当者会 代議員会	山之口支部理事総会	みやざき県民総合スポーツ祭説明会	新年度総会 県役員会
5月	環境美化活動	寒天工場美化活動 春季ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ大会 カラオケ会		公民館総会兼懇親会	地域審議会 的野農村公園地区体育館奉仕作業	役員研修 管理組合地区財産視察		県総会 ｼﾞｭﾆｱ・ﾘｰﾀﾞｰ養成推進会議		四半的弓道大会 県スポーツ祭都城地区選手団決意式	県新旧会長会 県役員会
6月	環境美化活動	農道等草刈奉仕活動 料理教室 カラオケ会	環境美化運動 施餓鬼祭り	施餓鬼祭	的野農村公園地区体育館奉仕作業 地域ふれあい学習会 施餓鬼祭		青少年育成協議会理事会・総会	夏休み自由研究 採集標本教室	人形浄瑠璃定期公演	みやざき県民スポーツ祭	県役員会 県代表者研修会
7月	環境美化活動	寒天工場美化活動 神社周辺等美化活動 夏まつり	レクリエーション大会	八坂神社夏祭り 南方神社夏祭り あげ馬祭り（4年に1回）	的野農村公園地区体育館奉仕作業 的野正八幡宮六月灯 地域スポーツ教室	環境美化活動 施餓鬼祭 六月灯		インリーダー研修会	学童スケッチ大会		県役員会 交通安全キャラバン隊出発式
8月	青井岳駅構内愛宕神社入口花木植栽	寒天工場美化活動			的野農村公園地区体育館奉仕作業	環境美化活動 夕涼み会	有害図書販売立入調査	大川原峡キャンプ 九州ｼﾞｭﾆｱﾘｰﾀﾞｰ研修大会 県ｼﾞｭﾆｱﾘｰﾀﾞｰ研修大会		双信電機杯バレーボール大会（主催　双信パワーテック（株）	県役員会 県機関紙発行
9月	敬老座談会 薩摩古道散策	寒天工場美化活動	敬老大会 地域・麓小学校合同体育大会	敬老大会	敬老大会 的野農村公園地区体育館奉仕作業	敬老大会	町内指導巡視（どんどん祭り）		人形浄瑠璃定期公演		県役員会 交通安全母親指導者講習会
10月	環境美化活動 大型プランター管理	県道沿美化活動 秋季ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ大会		南方神社神嘗祭	富吉小学校上富吉地域合同運動会 的野農村公園地区体育館奉仕作業	十五夜祭り		県子ども会育成大会			県婦人体育大会 九州地区婦人大会 全国地域婦人団体研修会 九州地区結核予防婦人団体幹部講習会
11月	環境美化活動	弥五郎どん祭り（猿田彦参加） 山之口地区ｽﾎﾟﾚｸ大会 カゴ編み教室 カラオケ会　六日講 永野神社神祭	弥五郎どん祭り（浦安・稚児・担ぎ手） ふれあいスポーツ大会	ふれあいスポーツ大会 南方神社新嘗祭	弥五郎どん祭り、文化祭 ふれあいｽﾎﾟｰﾂ大会 新嘗祭	弥五郎どん祭り ふれあいスポーツ大会		九州地区子ども会育成研究協議会	弥五郎どん祭り 人形浄瑠璃定期公演	ふれあいスポーツ大会 山之口近郊小学生バレーボール大会	県役員会 県婦人大会
12月	生きがいふれあいﾌｪｽﾀ	生きがいふれあいﾌｪｽﾀ カゴ編み教室	生きがいふれあいフェスタ	生きがいふれあいﾌｪｽﾀ	生きがいふれあいﾌｪｽﾀ	環境美化運動 交通安全推進イルミネーション点灯	生きがいふれあいﾌｪｽﾀ	クリスマス会	生きがいふれあいフェスタ	都城市スポーツ賞表彰式	県役員会
1月	環境美化活動	消防出初式	成人式 消防出初式	南方神社歳（元）旦祭 南方神社七草祝い、厄払い 消防出初式	消防出初式 畦焼き	熊野神社奉納祭り 新春走ろう会 消防出初式	有害図書販売立入調査		新春書始め大会		県役員会 新春市町村会長会
2月	環境美化活動 薩摩古道散策	料理教室				畦焼き	中学校立志式・講演会	育成者交流会			県役員会 新入学児プレゼント作成
3月	環境美化活動	お伊勢講 公民館総会	環境美化運動 公民館総会	南方神社春祭り 運営審議委員会	的野正八幡宮春祭り、馬頭観音祭り 地域審議会	公民館審議会		育成会研修会	人形浄瑠璃定期公演	地区体育協会総会	県役員会 町会計監査　年度末総会

山之口地区地域福祉計画の体系図



山之口地区地域福祉計画の目標

■全体目標
- 歴史と伝統を伝承します
- こころのまち、元気で長生きのまち山之口をめざします
- 心豊かな歴史環境や生活しやすい環境づくりと自然を守ります

■青井岳地域　重点目標
- 交通弱者への対応
- 交流の場、ふれあいの場づくり
- 害獣対策

■永野地域　重点目標
- 交通弱者への対応
- 害獣対策
- 自治公民館組織の強化
- 少子、高齢化への対応

■麓地域　重点目標
- ゴミ不法投棄（生活環境・衛生問題）
- 伝統文化、歴史の活性化（武家屋敷）

■花木地域　重点目標
- 自治公民館組織の強化（未加入対策）
- 有事を含む緊急時の対応
- 伝統文化、歴史の活性化

■上富吉地域　重点目標
- 交通弱者への対応
- 少子高齢化への対応
- 伝統文化の伝承（弥五郎どん）や歴史の活性化
- 自然保全への対応（河川浄化）
- 自治公民館組織の強化（人材の養成）

■下富吉地域　重点目標
- 地域の連帯感の強化
- 心づくり、心の教育
- 地域間交流の維持
- 自然保全への対応（河川浄化）

人づくり・まちづくり

大柱	中柱	小柱	項目	第１段階⇒	第２段階⇒	第３段階⇒	もっと先の夢
●人づくり・まちづくり	心	心づくり、心の教育	世代、年齢を超えて交流しましょう	老人クラブや個人で世代間交流に取り組んでいる方のリスト作成と意見交換会を行う（指導者名簿の作成） 世代間交流の場の創出として実施されている事業の継続を支援する（例：木工教室・門松作り等） 地域における取り組みとして実施に向けて共通理解を図る	世代間交流事業の継続支援を行う →自治公民館との連携 →民生委員児童委員協議会との連携 →高齢者クラブ等との連携	世代間交流事業の継続を支援する （豊かな自然と触れ合う体験学習会等） ・保育園児と高齢者クラブとの交流会 （芋ほり・玉ねぎ収穫・門松作り・伝承遊び）	●心の教育を通じて郷土を愛する人づくりをめざす ●「世代」を意識せずに交流することができる
			あいさつをしましょう	あいさつ運動の推進を行う →大人の意識改革を行う （あいさつは大人から） 推進に際して連携できる組織の強化 （例：登下校時の見守り隊）	あいさつについて、家庭や地域での礼節や防犯への効果を考え実践する 子ども達には、大人から声をかけあいさつをする あいさつを通じて、元気で明るい山之口をめざす		
			本に触れましょう（地域で家庭で）	ふれあいの館図書室の利用を促進する 図書の充実を図り、子どもから高齢者まで気軽に利用できる環境を整備する 各施設にある図書室の本の充実を図る	保育園、小学校での読み聞かせを積極的に推進する →読み聞かせボランティアの活用	都城市全体の図書館利用を促進して、総合支所図書室や社協図書室の利用をＰＲし積極的に貸し出しを行う	
	ふるさと	伝統文化、歴史の活性化～ふるさと再発見～	伝統や歴史を大切にしましょう	都城市文化財課にある地区の史跡図の活用を図る 各小学校区内で伝承されている民俗芸能の保存強化を図る	地域で定期的に史跡等の見守りを実施する 地域と保存会が一体となって、後継者の育成を図る 市内の民俗芸能まつりで保存会が発表できるように伝承保存を図る	各種行事へ積極的に参加することにより伝統民俗芸能を伝承する 地区内、小学校３校の民俗伝統芸能保存継承事業の支援を図る	●歴史のまち山之口を全国へ発信する ●途絶えている伝統芸能の復活を図る
	ふれあい	交流の場づくり～みんなでネットワーク化～（交流の場、機会）	みんなで学び、そして遊びましょう	子ども達の実態及びニーズ調査を行う（アンケート調査） 社会資源を活用する →どのような社会資源があるか調査 利用できる資源を確認する	誰でもいつでも使用できる交流の場を確保する（空き店舗等の活用の模索） ボランティアや高齢者等が開催する体験学習の支援を図る 調査結果を反映して、イベントやふれあいの場を作る 指導者の組織づくりを行う （指導者人材バンク） 指導者活用のＰＲを行う	自然体験学習 語り部、読み書き講座、伝承遊び講座を開催する 大人が持っている知恵、特技、遊びをこどもに伝える（竹とんぼ、竹笛等） 「昔話／民話」、「里山遊び」、「川遊び」、「昔の遊び」文化を伝える	●自然を愛する人づくり
			みんなの得意なことを活かしましょう	指導者等の調査及びリストの作成づくりを行う			
		地域の連帯感	地域の行事・連帯感を大切にしましょう	生涯学習の一環として季節に応じた行事の開催（体験農園、門松、しめ縄作り等） 地域の各種行事への参加の働きかけ 高齢者と園児との交流会	みんなのニーズを反映して、誰もが参加しやすい行事の開催を行う （子どもの参加型、親子の参加型／子どもの参加型があると親も集まる） スポーツ少年団等加入で地域での行事の参加が少ない 第３日曜日の「家庭の日」を利用する		●地域みんなが参加で無償の汗をかく行事の開催をめざす
		地域間交流の推進	地域間、世代間もっと、もっと交流しましょう				

人づくり・まちづくり

大柱	中柱	小柱	項目	第１段階⇒	第２段階⇒	第３段階⇒	もっと先の夢
●人づくり・まちづくり	活力	少子高齢化への対応	行政への提案 元気な地域にするために	いきいきサロンへの参加により引き籠りや孤独感を解消する 高齢者クラブの存続と加入促進を図る 団塊世代の力を利用する（家庭での子育て支援や病児預かり保育制度の充実） 子育て支援センターの事業支援 他地区から移住したくなる地域づくりをみんなで考えよう	元気な高齢者クラブ会員の経験を地域に還元してもらう ＊子どもを守る組織づくり ＊公民館でおばあちゃん、おじいちゃんによる育児相談 団塊世代によるファミリサポート支援員の活用 高齢者宅を子どもたちが訪問し、困りごとを手伝う	団塊世代のボランティア推進を図る 保育園・子育て支援センターでの高齢者とのふれあいの場を推進する 子育て世代への安価な住宅地の開発提供 市独自の子育て一部支援制度の確立	●子育て環境を整え若者の定住をめざす
		自治公民館組織の強化	行政への提案 →公民館への加入を促進しましょう	自治公民館が崩壊しないための取り組みを考えよう ＊公民館未加入者の加入促進 ＊　多様なサロン活動を公民館が支援 子育て世代が参加しやすい地域内行事を盛り込む ＊女性部の再組織化を検討する 団塊世代層を中心とした女性部再組織 ＊自治公民館役員の継続を図る	魅力ある公民館づくり ＊若者世代の意見を取り入れ、慣習にとらわれない公民館づくり 組織の細分化による組織の強化 役員等を強制せず加入を促す 女性部の再編成及び組織の強化	自治公民館への活動費の増額助成 ～魅力ある活動推進のため行政支援のルール化を模索	●全世帯の公民館加入をめざす ●みんなで助け合って楽しいまちづくり
			地域行事を復活させよう	誰もが参加しやすい軽スポーツ行事に取り組む （他地区の取り組みを参考にする）	地域内の伝統行事を、子ども達が参加しやすい祭りに見直す	地域住民総参加の行事を開催	
		商店街づくり	商工会との連携	商店の減少により買い物困難地域への宅配や移動販売等の取組みを模索する 商店、企業が元気になる取り組みを考える （地元商店・業者の利用により特典制度の検討）	地場産業の開発促進 ＊地元農産物の６次産業化による商品のＰＲと消費拡大を図る	イベント等で目玉商品のＰＲ	●目玉商品をインターネットで全国に発信
			空き店舗を地域で活用	ＮＰＯ法人等への空き店舗貸し出し活用	６次産業化による山之口の目玉商品を作る 「道の駅山之口」へ農産物の販売拡大支援		

人づくり・まちづくり

大柱	中柱	小柱	項目	第１段階⇒	第２段階⇒	第３段階⇒	もっと先の夢
●環境	交通	交通の利便	コミュニティバス「あじさい号」の運行継続を支援	ニーズの調査 現在　地域から中心部への運行をニーズに応じた路線運行を支援する	「あじさい号」の運行地域拡大と継続支援を要請する 調査を踏まえて、行政と協力団体と協議を行う		●地域コミュニティバスの運行拡大と継続をめざす ●交通事故の無いまちをめざす
		交通弱者への対応	利用者のニーズを調査する	交通弱者のニーズに応じた利便性のある対応を検討する （行政への支援要請を行う）	地域・自治公民館等を利用してニーズの把握をする 交通弱者のための道路の整備を行う		
			行政への提案	道路の現況調査（危険箇所等）			
	衛生	次世代のために自然を守る（環境維持）	環境保全活動に取り組みましょう	自然とふれあうイベントを開催し、愛護精神を養う 環境調査を行う	環境対策について、公民館を中心にして各種団体と協議する	環境保全対策活動を実施する 奉仕作業の充実（公民館活動）	●環境保全推進協議会誕生
			行政への提案	環境美化の立て看板の設置、河川の調査を行う	ゴミの捨てにくい環境づくりへの提言 ―座談会等の協議		
		生活環境・衛生問題	ゴミの減量化 資源物のリサイクル	環境に対する意識改革を行う ゴミ減量の意識を高める 資源ゴミのリサイクルに取り組む	朝作業等を通して自治公民館内の環境美化意識を高める		●ゴミのないまちづくり
	安心	有事を含む緊急対応	日頃から要援護者の把握に努めましょう	地域内で隣近所の一人暮らし高齢者等の対象者の把握をする 障がい者の状況把握を行う	関係機関との協議及び連携を密にする 緊急時における避難のありかたを地域内で自主防災組織員を中心に共通理解する	見守りマップの作成 ～民生委員・公民館防災組織員と連携する	●安心安全なまちづくり
			学習会を開催しましょう	ボランティア活動啓発学習会を繰り返し開催 →社会福祉協議会が中核となる	災害発生時の住民参加の協力体制の整備を図る		
			日頃から、地域で交流しましょう	山之口の災害防災マップの実情と把握をする 各自治公民館の自主防災組織員による、防災（減災）に関する学習会等を企画実施する まちづくり協議会の早期体制づくりをめざす山之口地区社会福祉協議会を構成する委員の協力体制を高める	自分たちの住む地域において、１人の不幸も見逃さないという地域連帯を醸成する		
		防犯灯設置の充実（通学路の安全確保）	危険箇所を把握しましょう	危険箇所の調査を行う／ＰＴＡ・地区内補導員との協議をもつ 親が地域に関わらず子どもの見守りだけを地域に求めるのはおかしい　→新たな連携づくりの一歩とする	街灯を増やす 集団登校、下校を徹底させる 見守りボランティアの養成 地域住民による子ども達への声かけや見守りを図る 親と子の会話やふれあいにより、子ども達の変化に早期に気づき対応する		
	サービス	地域福祉の充実	一人の不幸も見逃さない地域をつくりましょう	制度として利用できる福祉サービスと互助共助で可能な福祉サービスの確認検討を行う 見守りネットワークの構築を目指した検討を行う 茶のみ仲間を増やす 各地域にいきいきサロン会の立ち上げ支援を図る 軽度生活援助員制度を周知して利用による見守りを図る	自治公民館単位で介護予防の運動プログラムが実施できるような支援体制を構築する 地域福祉計画策定委員会が見守りネットワークを機能させる サロンの充実、新規サロンの立ち上げ支援	定期的な運動プログラムを実施する 見守りネットワークの推進	●みんなの力で地域福祉の充実
		障がい者福祉の充実	ともに生きるまちづくり	障がい者の実態把握 障がい者にやさしいまちづくりへの提言	障がい者の社会参加支援 家族会結成へのアプローチ	歩きやすい山之口づくり	
		合併後の諸問題	まちづくり協議会の設立	まちづくり協議会の活動への協力	まちづくり協議会を中心に地域特性を生かした事業を展開する	事業展開のための予算確保	

○青井岳地域の活動項目と地区支援計画（社協活動計画）

■現状と今後の重点目標	◇地区社協・社協山之口支所・市行政からの支援
・住民の憩いの広場 ・的（土場）の所を含めた場所 ・愛宕神社散道を申請したが、駄目みたいでそのほかの方法はないか等	・地域としての存続について早い時期に対応、方策をアドバイス支援してほしい 只々３～５年の問題と考えます。

○永野地域の活動項目と地区支援計画（社協活動計画）

■現状と今後の重点目標	◇地区社協・社協山之口支所・市行政からの支援
・高齢化対応 ・超過疎化対応 ・ゴミ、ペット不法投棄対応	・認知症予防のための講習 ・生きがいづくり ・害獣対策への行政支援 ・今まで地区内で行なってきた奉仕作業等への行政支援 ・行政、警察は立札を立てるだけでなく、本気になって取り締まってほしい

○麓地域の活動項目と地区支援計画（社協活動計画）

■現状と今後の重点目標	◇地区社協・社協山之口支所・市行政からの支援
・伝統文化の継承と歴史の活性化 （麓文弥節人形浄瑠璃定期公演） ・有事を含む緊急時の対応 ・交通網整備に伴う地域の活性化 （スマートインター整備により宅地造成支援）	・地域活性化予算の支援 行政との連携で社協が支援すべき部分を明確にする ・行政との連携で、社協支援の明確化 地域消防への支援と連携強化 ・行政による安価な宅地造成への連携協議

○花木地域の活動項目と地区支援計画（社協活動計画）

■現状と今後の重点目標	◇地区社協・社協山之口支所・市行政からの支援
・自治公民館組織の強化 （未加入対策を含む） ・伝統文化の伝承（あげ馬祭り）や歴史の活性化 ・有事を含む緊急時の対応	・公民館活動の地域住民へのアピール イベントなどの企画についての社協との連携 財源支援 ・独自文化の維持、継続への連携 財源支援 ・行政との連携、社協の支援できる部分の明確化、地域消防との連携の強化

○上富吉地域の活動項目と地区支援計画（社協活動計画）

■現状と今後の重点目標	◇地区社協・社協山之口支所・市行政からの支援
・自然保全への対応（河川浄化） ・伝統文化の伝承 （毎年の弥五郎どん祭り）歴史の活性化 ・少子高齢化への対応 ・自治公民館組織の強化 ・地域の連帯感の強化	・河川内堆積物除去、災害防止のため行政への支援要望 ・行政支援 ・子育て支援、高齢者クラブへの加入促進 ・自治公民館への加入促進 ・地域と学校（ＰＴＡ）との連携

○下富吉地域の活動項目と地区支援計画（社協活動計画）

■現状と今後の重点目標	◇地区社協・社協山之口支所・市行政からの支援
・地域の連帯感の強化 ・地域間交流の維持 ・心づくり、心の教育 ・自然保護への対応（河川浄化） ・交通安全推進運動 （イルミネーションでの呼びかけ）	・地域文化の維持・継続の支援 ・財源的な部分での支援 ・体験事業、ふれあい交流活動の計画・実践 ・上富吉地域との連携を協議し、住民意識を高める座談会の開催 ・２６９号線沿いの熊野神社から電飾による交通安全の呼びかけ

こども・地域住民アンケート

1．山之口の良いところはどんなところでしょう

小　学　生（5・6年生）	地　域　住　民
・近くに公園があり遊ぶところが多い ・野菜が沢山取れる ・近くにお店がある ・自然が豊かで住んでいる人が親切 ・自然が多い・きれい ・水がきれいで美味しい ・お年寄りの方がやさしい、交流ができる ・霧島の水がおいしい ・都会と違った楽しさがあり、学校の友達も楽しい ・みんながやさしい ・野生の動物がいっぱいいる ・夜に駅前が明るい ・自然に恵まれている ・田んぼ・畑が多く緑が多い ・自然の音がいい、空気が美味しい ・昆虫が沢山いる ・人が少ないのですぐ知り合いになれる ・歴史がいっぱいある ・先生や友達、周りの人が優しい ・食べ物（お米・野菜）が美味しい ・花がきれいである ・事故があまりない ・郷土芸能がある ・みんなが仲良しで、地域の人が協力してくれる ・海や川が少ない ・昔の道具が残っている ・不良が少ない ・皆の笑顔が良い ・ボランティアなどをする人がたくさんいる ・駅があること ・安全でのんびりとしている	・地域ごとで助けあっているところ ・青井岳温泉があること ・グランドゴルフなどのサークルがありよい ・歴史の町のピーアル ・自然が豊かであること ・人情み厚い人が多い ・才能のある人が多い（料理・野菜つくり・木工竹細工・絵の得意な人など） ・高齢者に住みやすい町 ・自然が多く青井岳温泉が安い料金で利用できる ・あじさい号は高齢者にとって便利である ・伝統芸能活動を一生懸命積極的に取り組んでいる（弥五郎どん祭りなど） ・山之口町は探究すると歴史的に伝説があり興味深い ・交通の便が良い ・高速のスマートインターが建設されるともっと便利になり良い ・合併後何が良いのか難しくなっている ・交通弱者にとってあじさい号の運行は良かった ・自然が多く住みやすい ・公害・災害の危険性も少なく住みやすい ・地域で年数回会費制の食事会をして交流を図っている ・国の重要無形民俗文化財の麓文弥節人形浄瑠璃が麓小学校の子どもたちに継承されていること ・小学生の子供達がよく挨拶をする

2．みなさんの周りで「困っていること」や「不安に思っていること」

小　学　生（5・6年生）	地　域　住　民
・飯起地区周辺にお店が欲しい ・公園を増やして自販機が欲しい ・運動公園でたまに不審者がでるのでパトロールをしてもらいたい ・道路をきれいにして欲しい ・家の近くに街灯が少ないので怖い ・もっと遊具を増やして欲しい ・高城原に公園が欲しい ・お店が少ないのでお店を増やして欲しい ・街灯を増やして欲しい ・木が多くて見晴らしが悪いので不審者が隠れているのに気付かず危ない ・団地の公園の遊具が少ない、汚い ・交番を増やして欲しい ・道路をきれいにして欲しい ・公園が狭い、つまらない ・道端にゴミが落ちている ・安楽寺のグランドでサッカーが出来るように ・歩道でつまずきやすい所が多い ・１１０番を増やして防犯ブザーを電池式以外にして欲しい ・「つくしんぼ」が４年生までなので　妹が１人で帰れるか心配 ・お家をきれいにしたい ・農村公園のトイレが汚い・くさい ・勉強が不安 ・ゴミが多い ・のら犬やのらネコを減らして欲しい ・道路がデコボコして水がたまりがあり歩きにくい ・登下校する橋に大きな隙間が開いている ・横断歩道の信号機が少ない ・車が多い ・道路の上り下りが多い ・危険なところが多い ・子供の遊ぶところが少ない ・雨の日に帰る時レンガがある道を通るとすべりそうで危ない ・線路のボタンを押したらいけない表示が薄くなっていて、小さい子どもが押したらどうしようと思う	・親を見ているけど二人とも仕事の時不安である ・仕事で遠くに居るときにすぐ帰れない ・高齢者入所施設の場所が分からない ・消費税のアップや物価の値上がり給与・年金の減少で社会的に不安が増大する ・高齢者クラブの数が減少している（対策を模索している） ・近所には一人暮らしの高齢者が多いが、グランドゴルフ等で過ごしている、困っている事などを心を開いて話す所がない ・子供達が都会におり地域で高齢者夫婦世帯を見ると孤独になっており不安である ・合併後地区民が楽しめる大イベントが少なくなった ・人間関係が寂しくなった ・山間地の田畑の荒廃が気になる ・地域に子供が少ない ・高齢者の一人暮らしが多く地区役員がいなくなる ・身近に買い物できる商店が少なく高齢者は困っている ・家の周りに空き家が多くなり寂しくなった ・田畑の荒廃が今後ますます増えることが懸念されるので、行政で対策を検討してほしい。 ・人口減少により子供が少なく学校の統廃合が心配 ・高齢者の施設等入所料が高くて困る ・昼間人口が少なく高齢者ばかりで災害時が心配である ・昔ながらの「ゆい」の気持ちが薄らいできて、役員の引き受け手がいなく組織が崩れてしまう ・高齢者が多いので災害や台風時が不安である ・転住者が自治公民館に加入せず困る

2．みなさんの周りで「困っていること」や「不安に思っていること」

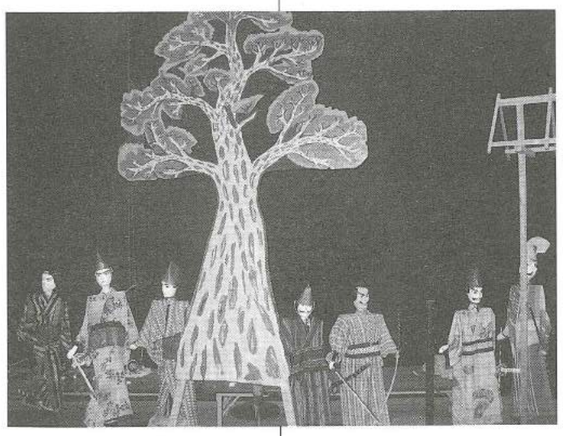
小　学　生（5・6年生）	地　域　住　民
・誰も住んでいない、ぼろぼろの家があったりしてすごくこわい ・学校付近の斜面の土が柔らかく土砂崩れしそうなこと ・道路の白線が消えかけている ・犬の飼い主は糞をきちんと拾ってもらいたい ・校区内が運動公園までだったらいい ・麓小学校の人数が減ってしまうこと ・車がスピードを出し過ぎ、信号無視が多い ・交差点の歩行者信号の赤の長さが違う ・高速道路から車が落ちてこないか心配 ・下平にある信号で横断歩道の住宅側に歩行者信号の押しボタンが欲しい ・麓地区に子どもが少ない ・麓地区の体育館が雨漏りしている ・学校の寒さにたえられない ・不審者みたいな人にカメラを向けられた ・自転車の範囲を広げてほしい	

3．こんなことがあったらいいなあと思うこと。

小 学 生（5・6年生）	地　域　住　民
・プール大会があるといい ・有名人がたくさん来て欲しい（歌手） ・どんどん祭りのような大きな祭りを増やして欲しい ・お店を増やして欲しい ・駅の近くに公園を作って欲しい ・大きな流れるプールを造って欲しい ・川内地区に大きな公園が欲しい ・地区でのキャンプ ・1年に1度Ｅ－ガールズに会いたい ・泳げる川が欲しい ・公園の遊具を増やして欲しい ・お店の物が全部１００円になって欲しい ・雨の日も遊べる児童館が欲しい ・近くに温泉があるといい ・夏祭りもしたい ・登校する時暗いので懐中電灯が欲しい ・芸能人が来て欲しい ・山之口町を広くして欲しい ・ゲームセンターが欲しい ・テレビ番組に面白いドラマがあるといい ・街灯や自販機を増やして欲しい ・自動販売機の無料の日があるといい ・運動公園にバスケットコートを造ってほしい ・かぶと虫の木が欲しい ・なんでも１００円の自販機が欲しい ・山之口中学校にバスケ部が欲しい ・近くに書店・文具店が欲しい ・牛肉が安く手に入ること ・近くにコンビニがあると便利 ・遊園地が欲しい ・道路が急なところがなくなること ・博物館があったらいい ・緑を増やすボランティアがあるといい ・散髪屋が欲しい ・ベッコウアメのお店が欲しい ・ショッピングモールが欲しい ・図書館があったらいい	・老人ホームが安く入所できればいい ・一人暮らしの方に声掛けをして元気を確認する ・病気などで倒れている場合早く見つけて欲しい ・体の弱い方が集まり楽しむ場所が少ない ・体力つくりをする道具のある施設が欲しい ・社協の仕事・業務内容が理解できていない ・おしゃべり会やさんさんクラブをもっと増やして皆で助け合える山之口にしたい ・図書館が欲しい既存の物は規模が小さくて、本の冊数が足りない。 ・山之口町で高齢者大会が開催できるといい ・高齢者の活動をＰＲする場があるといい ・公民館を通して高齢者の集う催しが出来るといい ・住宅地の造成を行い安価で斡旋をして欲しい ・高齢者施設が増えて欲しい ・田畑の耕作をしてくれる人が欲しい

3．こんなことがあったらいいなと思うこと。

小　学　生（5・6年生）	地　域　住　民
・小さな子供や障がいのある人でも楽しく遊べる遊具があるといい ・家から学校までのスクールバスが欲しい ・自然の物を使った遊具を増やしてください ・勉強が解らないとき教えてくれる親切な場所が欲しい ・他の学校の人と交流できるところが欲しい ・２６９号線のローソンあたりに歩道橋があるといい ・麓地区にレストランやお店があったらいい ・住む人が増えること ・山之口インターチェンジができるのでお店を増やしてほしい	



「誰もが安心して暮らせる山之口をめざして」の地域福祉

住み慣れた家庭や地域の中で安心して、自立した生活ができることは、誰しもが望むことです。

しかし　少子高齢化、核家族化が進んで独居高齢者や要介護高齢者の増える中で地域において暖かい住民同士の交流や連帯が希薄くになってきて、地域社会から孤立する人たちが増えております。

一人ひとりが自分の意志で幸せを感じながら生活できる支援体制が必要になります

地域福祉の推進を図ることを目的に、地域住民、行政と社協の協働で、地域が抱える多様化、複雑化した問題点を認識して問題解決力、地域の福祉力を高めていかなければなりません。

この改正した「あじさいプラン」は『誰もが安心して暮らせるまち　山之口をめざして』地域住民の皆様や行政、社協と連携して具体的に実践していくことを目的としております。

平成２７年３月
山之口地区社会福祉協議会
会　長　　小　山　　稔

山之口地区地域福祉計画策定委員

氏　　名	所　　属
小　山　　稔	山之口地区社会福祉協議会会長（麓地域公民館長）
下　西　勝　彦	山之口地区社会福祉協議会副会長（下富吉地域公民館長）
山　内　正　信	山之口地区社会福祉協議会副会長（民生児童委員会長）
連　城　輝　子	山之口地区社会福祉協議会事務局長
谷　口　清　一	青井岳地域公民館長
戸　高　賢　一	永野地域公民館長
有　川　俊一郎	花木地域公民館長
西久保　　護	上富吉地域公民館長
谷　山　朋　子	都城市山之口総合支所　市民生活課副課長
森　山　慎　悟	都城市社会福祉協議会
亀　澤　俊　男	都城市社会福祉協議会山之口支所長
小　牧　弘　幸	都城市社会福祉協議会山之口支所主事

平成２７年３月
編　集　山之口地区社会福祉協議会　事務局
〒　８８９－１８０２
都城市山之口町花木２６６７番地２
ＴＥＬ　０９８６－５７－４５７７
ＦＡＸ　０９８６－５７－５２４９